



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 助野 健児

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 吉澤 ちさと

TEL 03-6271-1111

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,132,134	△3.5	92,039	9.7	97,532	△1.3	61,145	△6.6
2019年3月期第2四半期	1,172,743	△1.3	83,930	16.0	98,831	△1.3	65,494	△7.6

(注) 四半期包括利益 2020年3月期第2四半期 17,645百万円 (△81.8%) 2019年3月期第2四半期 96,876百万円 (△11.0%)

	基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	149.38	148.91
2019年3月期第2四半期	152.43	151.98

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,480,787	2,245,789	2,035,904	58.5
2019年3月期	3,414,692	2,244,841	2,036,963	59.7

(注) 資本合計(純資産)は、P.9の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2020年3月期	—	47.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	47.50	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,435,000	0.1	240,000	14.4	245,000	15.2	162,000	17.3	395.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2019年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	514,625,728 株	2019年3月期	514,625,728 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	105,246,429 株	2019年3月期	105,340,377 株
------------	---------------	----------	---------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	409,332,091 株	2019年3月期2Q	429,670,455 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## [目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 5
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3)	会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 7
4.	四半期連結財務諸表	P. 8
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 8
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 10
	（四半期連結損益計算書）	P. 10
	【第2四半期連結累計期間】	P. 10
	【第2四半期連結会計期間（3ヶ月）】	P. 11
	（四半期連結包括利益計算書）	P. 12
	【第2四半期連結累計期間】	P. 12
	【第2四半期連結会計期間（3ヶ月）】	P. 12
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 13
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
	（継続企業の前提に関する注記）	P. 14
	（セグメント情報）	P. 14
	1) 第2四半期連結累計期間	P. 14
	2) 第2四半期連結会計期間（3ヶ月）	P. 16
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2020年3月期 第2四半期累計		2019年3月期 第2四半期累計		増減額	増減率
国内売上高	43.5%	4,919	41.0%	4,808	111	2.3%
海外売上高	56.5%	6,402	59.0%	6,919	△517	△7.5%
売上高	100.0%	11,321	100.0%	11,727	△406	△3.5%
営業利益	8.1%	920	7.2%	839	81	9.7%
税金等調整前四半期純利益	8.6%	975	8.4%	988	△13	△1.3%
当社株主帰属四半期純利益	5.4%	611	5.6%	655	△44	△6.6%
為替レート (円/米\$)		109 円		110 円	△1 円	
為替レート (円/Euro)		121 円		130 円	△9 円	

(注) 表紙の税引前四半期純利益を税金等調整前四半期純利益に読み替えております。

2020年3月期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～9月30日)の世界経済を概観すると、米国の景気は、個人消費や政府支出が増加し、着実な回復が継続しました。欧州の景気は、一部に弱さがみられるものの、消費の増加により、緩やかな回復基調が継続しました。アジア地域については、中国では、消費の伸びの低下や輸出の減少などの影響で、景気は緩やかに減速しています。その他アジア地域は、景気は緩やかに回復しているものの、一部に弱い動きもみられます。日本では、雇用・所得環境の改善により個人消費が持ち直しており、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループは、コア事業であった写真フィルムの需要が激減した2000年以降、事業構造の転換を積極的に進め、安定的に利益を創出できる経営基盤を構築し、新たな成長フェーズに入りました。2017年8月に2030年度を目標とした新CSR計画「サステナブルバリュープラン(Sustainable Value Plan)2030」(以下、「SVP2030」)を策定。革新的技術・製品・サービスの提供など、事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、サステナブル社会の実現に貢献する企業であり続けます。また、「SVP2030」で示した目指す姿を実現するための具体的なアクションプランとして、中期経営計画「VISION2019」を策定。それぞれの事業を「収益力の向上」「さらなる成長の加速」「未来を創る投資」の3つのステージに位置づけ、成長過程に合わせた施策を適切に展開することにより、個々の事業の収益力のさらなる強化を図ることで、事業ポートフォリオをより強固なものにし、一層の飛躍へとつなげていきます。

2020年3月期は、米中貿易摩擦、欧州における英国のEU離脱や、中国をはじめとした新興国経済の動向、北朝鮮や中東情勢などの地政学的リスク、国内においては消費増税の影響など、先行きの見えない不安定な状況が続くことが予想されますが、当社は各事業のさらなる収益力の向上で安定的にキャッシュを創出するとともに、特に「ヘルスケア・高機能材料領域の事業成長の加速」と「ドキュメント事業の抜本的強化」を実現することで、事業ポートフォリオをより強固なものにしていきます。

当社グループの2020年3月期第2四半期連結累計期間における連結売上高は、メディカルシステム事業、バイオCDMO事業、再生医療事業などで売上を伸ばしましたが、フォトイメージング事業、ドキュメント事業の売上減少などにより1兆1,321億円(前年同期比3.5%減)となりました。

営業利益は、920億円(前年同期比9.7%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は975億円(前年同期比1.3%減)、当社株主帰属四半期純利益は611億円(前年同期比6.6%減)となりました。当四半期の円為替レートは、対米ドルで109円、対ユーロで121円となりました。

## 【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2020年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
イメージングソリューション	1,541	1,759	△218	△12.4%
ヘルスケア&マテリアルズソリューション	4,927	4,990	△63	△1.3%
ドキュメントソリューション	4,853	4,978	△125	△2.5%
連結合計	11,321	11,727	△406	△3.5%

## 【事業セグメント別の営業利益】

(単位：億円)

セグメント	2020年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
イメージングソリューション	101	216	△115	△53.0%
ヘルスケア&マテリアルズソリューション	450	375	75	20.0%
ドキュメントソリューション	549	433	116	26.9%
全社費用及び セグメント間取引消去	△180	△185	5	-
連結合計	920	839	81	9.7%

## 「イメージングソリューション部門」

イメージングソリューション部門の連結売上高は、1,541億円（前年同期比12.4%減）となりました。

当部門の営業利益は、101億円（前年同期比53.0%減）となりました。

フォトイメージング事業では、カラーペーパーの販売減などの影響により売上は減少しました。撮影したその場で写真をプリントして楽しめるインスタントフォトシステムでは、2019年6月に発売したハイブリッドインスタントカメラ「instax mini LiPlay(インスタックス ミニ リプレイ)」の販売が国内外で好調に推移しました。小型・軽量の優れた携帯性やスマートフォンからのプリント機能、写真とともに音声を記録できるサウンド機能が好評を博しています。2019年10月には、スマートフォンで撮影した画像をチェキプリントにできるスマートフォン用プリンター「instax mini Link」を発売しました。付加価値プリントビジネスでは、2019年5月から写真クラウドサービス「FUJIFILM PhotoBank (フォトバンク)」のサービスを開始しました。

光学・電子映像事業の電子映像分野では、デジタルカメラのエントリーモデルの販売減などにより売上は減少しましたが、2019年6月に発売した、世界最高1億2百万画素のラージフォーマットセンサーを搭載したミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM GFX100」をはじめ、ミドル・ハイエンドモデルの販売が好調に推移しました。2019年9月には、「GFXシリーズ」用交換レンズとして、335gのコンパクトな単焦点タイプ「フジノンレンズ GF50mmF3.5 R LM WR」をラインアップに追加。計10本のレンズラインアップで幅広い撮影範囲をカバーし、「GFXシリーズ」で撮影する喜びを提供していきます。

光学デバイス分野では、主に中国景気の減速による車載レンズなど産業用レンズの需要減の影響を受け、売上は減少しました。屈曲型レンズの効果で設置の自由度が大幅に拡大するプロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」や、2019年8月に発売した、ラージフォーマットセンサー対応のシネマカメラ用ズームレンズ「Premista」シリーズなど、事業成長に向けた新製品の展開を強化しています。

## 「ヘルスケア&amp;マテリアルズソリューション部門」

ヘルスケア&マテリアルズソリューション部門の連結売上高は、4,927億円（前年同期比1.3%減）となりました。

当部門の営業利益は、450億円（前年同期比20.0%増）となりました。

メディカルシステム事業では、X線画像診断、医療IT、内視鏡、体外診断(IVD)などの分野で販売が好調に推移し、売上が増加しました。X線画像診断分野では、中東・アフリカ、東南アジアなどの新興国を中心としたDR販売が好調に推移しました。医療IT分野では、医用画像情報システム(PACS)

「SYNAPSE」を中心としたシステムの販売が日本・米国を中心に好調に推移し、売上が大幅に増加しました。また、2019年7月より日本国内において、CT画像からの臓器自動抽出など、AI技術を活用し診断を支援するAIプラットフォーム「SYNAPSE SAI viewer (シナプス サイ ビューワ)」の販売を開始しました。AI技術を活用することで、画像診断における医師の診断支援やワークフローの改善に取り組んでいきます。内視鏡分野では、特殊光観察が可能な7000システムなどの販売が好調に推移しました。超音波診断分野では、透析用途に自動血流量測定機能を新たに搭載した携帯型超音波画像診断装置「FC1-X」の販売が日本で大幅に増加したほか、中国や新興国でも携帯型超音波画像診断装置「SonoSite Edge II」を中心に販売が好調に推移しました。また、米国を中心に、フルフラット型超音波画像診断装置「SonoSite S II」の販売も増加しています。体外診断(IVD)分野は、血液検査システム「ドライケムシリーズ」の販売や、国内動物向け受託検査が好調に推移しました。

医薬品事業では、収益性の改善を目的にジェネリック医薬品販売を縮小したことなどにより、売上は減少しました。2019年7月に、中国でキノロン系経口合成抗菌薬「T-3811」について、肺炎などの呼吸器感染症を主な適応症とした輸入医薬品承認を取得しました。今後も、高付加価値な医薬品の開発・製造・販売を通じて、医療のさらなる発展に貢献していきます。

バイオ CDMO 事業では、バイオ医薬品のプロセス開発受託、及び製造受託が好調に推移し、売上が増加しました。2019年8月に、バイオ医薬品大手 Biogen Inc. の製造子会社である Biogen(Denmark) Manufacturing ApS の買収手続きを完了しました。本買収を通じて、15,000 リットルの動物細胞培養タンク6基などの大量生産設備を取得。生産能力を大幅に向上させるとともに、少量から大量までの幅広い受託ニーズに迅速に対応できる体制を構築しました。今後も生産能力の増強を継続するとともに、高効率・高生産性技術の開発により、バイオ医薬品のプロセス開発・製造受託事業を拡大していきます。

再生医療事業では、2018年6月に連結子会社化した、FUJIFILM Irvine Scientific, Inc. が展開するバイオ医薬品向けの培地販売が好調に推移し、売上が増加しました。2019年7月には、当社米国子会社で、iPS細胞の開発・製造のリーディングカンパニーである FUJIFILM Cellular Dynamics, Inc. と、米国有力ベンチャーキャピタルの Versant Venture Management, LLC が設立した Century Therapeutics, Inc. が、他家 iPS 細胞を用いた次世代がん免疫治療薬の開発を開始することを発表しました。本開発には大手製薬企業の Bayer AG も参画します。富士フイルムグループ各社の技術・ノウハウを活用し、再生医療の早期産業化に貢献していきます。

ライフサイエンス事業では、リニューアル発売したジェリー状先行美容液「ASTALIFT JELLY AQUARISTA(アスタリフト ジェリー アクアリスト)」や、サプリメント「メタバリア EX」などの販売が好調に推移し、売上が増加しました。また、2019年11月に男性用スキンケアシリーズ「ASTALIFT MEN (アスタリフト メン)」を発売し、男性用化粧品市場へ参入しました。今後もお客様のニーズをとらえた独自性の高い製品を提供し、人々の美容と健康に貢献していきます。

ディスプレイ材料事業では、「WV フィルム」の需要減などの影響を受け、全体の売上は減少しましたが、有機 EL 向けの製品販売が好調に推移しました。

産業機材事業では、タッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売が顧客の在庫調整の影響を受けたことなどにより、全体の売上は減少しましたが、非破壊検査用機器の販売が堅調に推移しました。

電子材料事業では、先端フォトリソ周辺材料が半導体市場低迷の影響を受けたものの、イメージセンサー用カラーレジスト、先端パッケージ用ポリイミドなどの販売が引き続き堅調に推移し、売上が前年並みとなりました。

ファインケミカル事業では、ライフサイエンス分野における研究機関向け試薬販売や、検査・分析等の受託サービスが堅調に推移し、売上が前年並みとなりました。

記録メディア事業では、大容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が好調に推移し、売上が増加しました。2019年9月には、最大記録容量 30TB を実現したデータストレージ用磁気テープ「FUJIFILM LTO Ultrium8 データカートリッジ」を発売するなど、今後も「BaFe (バリウムフェライト) 磁性体」などの独自技術を使用したデータストレージ用磁気テープの拡販や、データアーカイブサービスを提供し、ビッグデータ時代の顧客ニーズに確実に対応していきます。

グラフィックシステム事業では、刷版材料の需要減などの影響を受け、売上が減少しました。刷版材料分野では、2019年9月に産業環境管理協会が主催する「エコプロアワード」にて「経済産業大臣

賞」を受賞した新聞用完全無処理サーマルCTPプレート「SUPERIA ZN-II」をはじめとする環境対応品の拡販を推進します。デジタル印刷分野では、2019年3月に販売を開始した、商業印刷向けインクジェットデジタルプレス「Jet Press」シリーズの新ラインアップ「Jet Press 750S」を中心に、デジタル化が進む商業印刷及びパッケージ印刷市場に対して、今後も画期的な製品を開発・提供し、事業成長を図っていきます。

インクジェット事業では、産業用インクジェットヘッドの販売が中国景気の減速による需要減の影響を受け、売上が減少しました。これまで注力してきた商業印刷分野、サインディスプレイ分野に加え、テキスタイルやパッケージなど、新たな領域へ独自の製品を展開し、事業を拡大していきます。

#### 「ドキュメント ソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、4,853億円（前年同期比2.5%減）となりました。

当部門の営業利益は、国内販売が好調なことに加えて、低採算商談の縮小などによる収益改善や構造改革効果により549億円（前年同期比26.9%増）となりました。

オフィスプロダクト&プリンター事業のオフィスプロダクト分野では、欧米向け輸出の減少などにより全体の販売台数は対前年で減少しましたが、国内、アジアパシフィック・中国地域で、カラー複合機の販売が好調に推移しました。

プロダクションサービス事業では、基幹システム向けプリンターの販売が減少したものの、カラー・オンデマンド・パブリッシング機「Iridesse™ Production Press」の販売が引き続き好調に推移したことと、国内のDTP(Desktop publishing)向けカラー機も販売が好調で、全体の販売台数は対前年で増加しました。

ソリューション&サービス事業では、オーストラリアで獲得した大型BPO(Business Process Outsourcing)契約に加え、オフィスのIT環境の設計・導入・運用・管理をサポートする役務サービスの販売が堅調に推移し、全体の売上が増加しました。今後も、新しいサービスメニューを順次提供することで、お客様の多様化する働き方を支援していくと共に、サービス領域での更なる成長を目指します。

#### (2) 財政状態に関する説明

2020年3月期第2四半期末は、有形固定資産の増加などにより、前期末(2019年3月31日)に比べ、資産合計が661億円増の3兆4,808億円となりました。負債は651億円増の1兆2,350億円となりました。株主資本は11億円減の2兆359億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ0.0ポイント増の246.5%、負債比率は3.3ポイント増の60.7%、株主資本比率は1.2ポイント減の58.5%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

#### 【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	2020年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,576	853	723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,635	△1,311	△324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26	△1,286	1,260

2020年3月期第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,576億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、事業の買収などにより、1,635億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、△59億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、26億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の2020年3月期第2四半期末残高は、前期末(2019年3月31日)に比べ267億円減少し、6,280億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期業績は、為替レートを円高に見直す影響などを考慮し、売上高を下方修正します。一方、販売が好調なメディカルシステム事業、バイオ CDMO 事業の収益性向上や、ドキュメントソリューションにおける収益性の改善や構造改革効果により、営業利益、税金等調整前当期純利益は修正致しません。当社株主帰属当期純利益は、富士ゼロックスの完全子会社化による非支配持分帰属利益の取り込みにより上方修正します。

なお、ドキュメント事業において、構造改革等の一時費用として100億円、構造改革の効果として180億円を見込んでおります。

通期での対米ドル円為替レートを108円、対ユーロ円為替レートを122円で想定しております。

(単位:百万円)

	前回発表予想(A) (2019年5月8日 発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績 (2019年3月期)
売上高	2,480,000	2,435,000	△45,000	△1.8%	2,431,489
営業利益	240,000	240,000	-	-	209,827
税金等調整前 当期純利益	245,000	245,000	-	-	212,762
当社株主帰属 当期純利益	155,000	162,000	7,000	4.5%	138,106
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	378.71円	395.72円	17.01円	4.5%	326.81円

注「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想では2019年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を、今回修正予想では2019年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)をそれぞれ使用しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更

2016年2月に、米国財務会計基準審議会は、会計基準アップデート2016-02「リース」を発行しました。当基準が規定する基準書842は、基準書840を置き換えるものであります。当基準は、リースの借手に対してリース負債と使用権資産を貸借対照表上に認識することを規定しております。また、当基準は、リースについての定性的及び定量的な開示を要求しております。当基準は、2018年12月15日より後に始まる連結会計年度(期中会計期間を含む)から適用され、早期適用は認められております。当社においては2019年4月1日から始まる連結会計年度から適用しております。当基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しておりますため、比較情報である前連結会計年度については再表示しておらず、基準書840に基づき報告しております。

当社は、基準適用日にすでに終了している又は存在する契約に対し、リースに該当するか否か、リ

ースの分類、当初直接コストの再評価をしない実務上の便法、および基準適用日にすでに終了している又は存在する借地権のうちリースとして会計処理されていなかった部分がリースに該当するか否かの再評価をしない実務上の便法を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## 富士フイルムホールディングス(株)(4901)2020年3月期第2四半期決算短信

## (1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結会計期間末 2019年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2019年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		628,044	654,747	△ 26,703
受取債権				
営業債権		505,470	580,423	△ 74,953
リース債権		56,192	58,857	△ 2,665
関連会社等に対する債権		3,339	5,634	△ 2,295
貸倒引当金		△ 25,143	△ 27,119	1,976
		539,858	617,795	△ 77,937
棚卸資産		398,782	374,456	24,326
前払費用及びその他の流動資産		91,199	83,908	7,291
流動資産 合計		1,657,883	1,730,906	△ 73,023
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		30,927	33,445	△ 2,518
投資有価証券		107,672	105,678	1,994
長期リース債権		62,741	72,814	△ 10,073
その他の長期債権		28,801	31,509	△ 2,708
貸倒引当金		△ 3,564	△ 3,754	190
投資及び長期債権 合計		226,577	239,692	△ 13,115
有形固定資産				
土地		97,560	98,211	△ 651
建物及び構築物		722,602	690,207	32,395
機械装置及びその他の有形固定資産		1,474,055	1,447,115	26,940
建設仮勘定		40,402	36,420	3,982
		2,334,619	2,271,953	62,666
減価償却累計額		△ 1,751,040	△ 1,745,156	△ 5,884
有形固定資産 合計		583,579	526,797	56,782
その他の資産				
オペレーティング・リース使用权資産		79,687	-	79,687
営業権		684,000	655,508	28,492
その他の無形固定資産		137,443	145,013	△ 7,570
その他		111,618	116,776	△ 5,158
その他の資産 合計		1,012,748	917,297	95,451
資産 合計		3,480,787	3,414,692	66,095

科目	期別 2020年3月期第2四半期 連結会計期間末 2019年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2019年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]			
流動負債			
社債及び短期借入金	140,430	170,579	△ 30,149
支払債務			
営業債務	196,765	210,658	△ 13,893
設備関係債務	19,297	25,758	△ 6,461
関連会社等に対する債務	1,897	1,940	△ 43
	217,959	238,356	△ 20,397
未払法人税等	18,328	18,950	△ 622
未払費用	180,043	182,833	△ 2,790
短期オペレーティング・リース負債	25,486	-	25,486
その他の流動負債	90,312	91,567	△ 1,255
流動負債 合計	672,558	702,285	△ 29,727
固定負債			
社債及び長期借入金	403,298	353,533	49,765
退職給付引当金	33,982	40,335	△ 6,353
長期オペレーティング・リース負債	55,040	-	55,040
その他の固定負債	70,120	73,698	△ 3,578
固定負債 合計	562,440	467,566	94,874
負債 合計	1,234,998	1,169,851	65,147
[純資産の部]			
株主資本			
資本金	40,363	40,363	-
普通株式			
発行可能株式総数 800,000,000株			
発行済株式総数 514,625,728株			
資本剰余金	24,946	24,494	452
利益剰余金	2,549,322	2,507,719	41,603
その他の包括利益(△損失)累積額	△ 144,093	△ 100,593	△ 43,500
自己株式	△ 434,634	△ 435,020	386
株主資本 合計	2,035,904	2,036,963	△ 1,059
非支配持分	209,885	207,878	2,007
純資産 合計	2,245,789	2,244,841	948
負債・純資産 合計	3,480,787	3,414,692	66,095

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	2019年9月30日現在	2019年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	△ 13	△ 2	△ 11
為替換算調整額	△ 43,548	2,112	△ 45,660
年金負債調整額	△ 100,412	△ 102,463	2,051
デリバティブ未実現損益	△ 120	△ 240	120

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	2020年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		2019年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日		増減 (△は減少)	
					増減額	増減率
	%		%			%
売上高	100.0	1,132,134	100.0	1,172,743	△ 40,609	△ 3.5
売上原価	58.2	658,550	58.5	685,836	△ 27,286	△ 4.0
売上総利益	41.8	473,584	41.5	486,907	△ 13,323	△ 2.7
営業費用						
販売費及び一般管理費	26.7	301,861	27.5	323,489	△ 21,628	△ 6.7
研究開発費	7.0	79,684	6.8	79,488	196	0.2
	33.7	381,545	34.3	402,977	△ 21,432	△ 5.3
営業利益	8.1	92,039	7.2	83,930	8,109	9.7
営業外収益及び費用(△)						
受取利息及び配当金		2,672		2,705	△ 33	
支払利息		△ 1,376		△ 1,936	560	
為替差損益・純額		△ 2,736		126	△ 2,862	
持分証券に関する損益・純額		△ 677		8,788	△ 9,465	
その他損益・純額		7,610		5,218	2,392	
	0.5	5,493	1.2	14,901	△ 9,408	△ 63.1
税金等調整前四半期純利益	8.6	97,532	8.4	98,831	△ 1,299	△ 1.3
法人税等	2.2	24,948	2.0	23,524	1,424	6.1
持分法による投資損益	△ 0.0	△ 575	△ 0.1	△ 1,130	555	△ 49.1
四半期純利益	6.4	72,009	6.3	74,177	△ 2,168	△ 2.9
控除:非支配持分帰属損益	△ 1.0	△ 10,864	△ 0.7	△ 8,683	△ 2,181	25.1
当社株主帰属四半期純利益	5.4	61,145	5.6	65,494	△ 4,349	△ 6.6

【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結会計期間		2019年3月期第2四半期 連結会計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年7月1日 至 2019年9月30日		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日		増減額	増減率
		%		%			%
売上高		100.0	596,808	100.0	607,851	△ 11,043	△ 1.8
売上原価		58.9	351,642	58.7	356,668	△ 5,026	△ 1.4
売上総利益		41.1	245,166	41.3	251,183	△ 6,017	△ 2.4
営業費用							
販売費及び一般管理費		25.1	149,523	27.1	164,763	△ 15,240	△ 9.2
研究開発費		6.8	40,717	6.5	39,345	1,372	3.5
営業利益		31.9	190,240	33.6	204,108	△ 13,868	△ 6.8
		9.2	54,926	7.7	47,075	7,851	16.7
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			1,008		847	161	
支払利息			△ 651		△ 975	324	
為替差損益・純額			186		△ 311	497	
持分証券に関する損益・純額			8,606		7,561	1,045	
その他損益・純額			7,065		△ 1,163	8,228	
税金等調整前四半期純利益		2.7	16,214	1.0	5,959	10,255	172.1
		11.9	71,140	8.7	53,034	18,106	34.1
法人税等		3.0	17,914	1.6	10,003	7,911	79.1
持分法による投資損益		△ 0.0	△ 45	△ 0.0	△ 107	62	△ 57.9
四半期純利益		8.9	53,181	7.1	42,924	10,257	23.9
控除:非支配持分帰属損益		△ 1.1	△ 6,698	△ 1.0	△ 5,754	△ 944	16.4
当社株主帰属四半期純利益		7.8	46,483	6.1	37,170	9,313	25.1

(四半期連結包括利益計算書)

## 【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期	2019年3月期第2四半期	増減 (△は減少)
		連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	
四半期純利益		72,009	74,177	△ 2,168
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		△ 11	3	△ 14
為替換算調整額		△ 50,606	30,461	△ 81,067
年金負債調整額		2,385	2,590	△ 205
デリバティブ未実現損益変動額		135	232	△ 97
合計		△ 48,097	33,286	△ 81,383
四半期包括利益		23,912	107,463	△ 83,551
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益		△ 6,267	△ 10,587	4,320
当社株主帰属四半期包括利益		17,645	96,876	△ 79,231

## 【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期	2019年3月期第2四半期	増減 (△は減少)
		連結会計期間 自 2019年7月 1日 至 2019年9月30日	連結会計期間 自 2018年7月 1日 至 2018年9月30日	
四半期純利益		53,181	42,924	10,257
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		2	1	1
為替換算調整額		△ 16,413	22,089	△ 38,502
年金負債調整額		1,170	1,135	35
デリバティブ未実現損益変動額		42	102	△ 60
合計		△ 15,199	23,327	△ 38,526
四半期包括利益		37,982	66,251	△ 28,269
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益		△ 5,347	△ 7,407	2,060
当社株主帰属四半期包括利益		32,635	58,844	△ 26,209

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結累計期間	2019年3月期第2四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		72,009	74,177	△ 2,168
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		60,516	63,200	△ 2,684
(2) 持分証券に関する損益		677	△ 8,788	9,465
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		1,633	5,229	△ 3,596
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		64,441	38,733	25,708
棚卸資産の増加		△ 31,975	△ 35,192	3,217
営業債務の減少		△ 6,652	△ 8,083	1,431
未払法人税等及びその他負債の減少		△ 5,438	△ 79,678	74,240
(5) その他		2,341	35,673	△ 33,332
小計		85,543	11,094	74,449
営業活動によるキャッシュ・フロー		157,552	85,271	72,281
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 43,120	△ 29,764	△ 13,356
2. ソフトウェアの購入		△ 9,582	△ 10,075	493
3. 投資有価証券の売却・満期償還		7	2,314	△ 2,307
4. 投資有価証券の購入		△ 1,718	△ 524	△ 1,194
5. 定期預金の増加(純額)		△ 2,919	△ 2,443	△ 476
6. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加(△)・減少		△ 945	37	△ 982
7. 事業の買収 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△ 105,709	△ 84,310	△ 21,399
8. その他		485	△ 6,332	6,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 163,501	△ 131,097	△ 32,404
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		50,117	36	50,081
2. 長期債務の返済額		△ 32,126	△ 1,599	△ 30,527
3. 短期債務の増加・減少(△)(純額)		170	△ 5,959	6,129
4. 親会社による配当金支払額		△ 16,371	△ 16,134	△ 237
5. 非支配持分への配当金支払額		△ 3,513	△ 4,038	525
6. 自己株式の取得(純額)		△ 9	△ 22,190	22,181
7. 非支配持分との資本取引その他		△ 840	△ 78,753	77,913
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,572	△ 128,637	126,065
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		△ 18,182	6,788	△ 24,970
V. 現金及び現金同等物純減少		△ 26,703	△ 167,675	140,972
VI. 現金及び現金同等物期首残高		654,747	768,246	△ 113,499
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		628,044	600,571	27,473

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 1) 第2四半期連結累計期間

## ① 事業別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結累計期間		2019年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージングソリューション :							
外部顧客に対するもの		13.6	154,070	15.0	175,912	△ 21,842	△ 12.4
セグメント間取引			1,175		1,105	70	-
計			155,245		177,017	△ 21,772	△ 12.3
ヘルスケア&マテリアルズソリューション :							
外部顧客に対するもの		43.5	492,745	42.6	499,061	△ 6,316	△ 1.3
セグメント間取引			1,011		673	338	-
計			493,756		499,734	△ 5,978	△ 1.2
ドキュメントソリューション :							
外部顧客に対するもの		42.9	485,319	42.4	497,770	△ 12,451	△ 2.5
セグメント間取引			6,730		3,839	2,891	-
計			492,049		501,609	△ 9,560	△ 1.9
セグメント間取引消去			△ 8,916		△ 5,617	△ 3,299	-
連結 合計		100.0	1,132,134	100.0	1,172,743	△ 40,609	△ 3.5

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結累計期間		2019年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 2019年4月1日 至 2019年9月30日		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
イメージングソリューション		6.5	10,144	12.2	21,599	△ 11,455	△ 53.0
ヘルスケア&マテリアルズソリューション		9.1	45,025	7.5	37,511	7,514	20.0
ドキュメントソリューション		11.2	54,921	8.6	43,287	11,634	26.9
計			110,090		102,397	7,693	7.5
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 18,051		△ 18,467	416	-
連結 合計		8.1	92,039	7.2	83,930	8,109	9.7

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

- イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、インスタントフォトシステム、光学デバイス等
- ヘルスケア&マテリアルズソリューション : メディカルシステム機材、化粧品・サプリメント、医薬品、バイオ医薬品製造開発受託、再生医療製品、化成品、グラフィックシステム機材、インクジェット機材、ディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等
- ドキュメントソリューション : デジタル複合機、パブリッシングシステム、ドキュメントマネジメントソフトウェア及び関連ソリューション・サービス等

## ②所在地別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日		2019年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
日本 :							
外部顧客に対するもの		50.1	566,724	48.9	573,721	△ 6,997	△ 1.2
セグメント間取引			234,304		251,406	△ 17,102	-
計			801,028		825,127	△ 24,099	△ 2.9
米州 :							
外部顧客に対するもの		17.7	200,590	18.5	217,375	△ 16,785	△ 7.7
セグメント間取引			25,788		24,890	898	-
計			226,378		242,265	△ 15,887	△ 6.6
欧州 :							
外部顧客に対するもの		9.7	110,119	9.7	113,196	△ 3,077	△ 2.7
セグメント間取引			8,394		9,358	△ 964	-
計			118,513		122,554	△ 4,041	△ 3.3
アジア及びその他 :							
外部顧客に対するもの		22.5	254,701	22.9	268,451	△ 13,750	△ 5.1
セグメント間取引			119,650		147,169	△ 27,519	-
計			374,351		415,620	△ 41,269	△ 9.9
セグメント間取引消去			△ 388,136		△ 432,823	44,687	-
連結 合計		100.0	1,132,134	100.0	1,172,743	△ 40,609	△ 3.5

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日		2019年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
日本		6.8	54,244	6.3	51,594	2,650	5.1
米州		2.7	6,053	3.7	8,853	△ 2,800	△ 31.6
欧州		1.7	2,059	3.3	4,098	△ 2,039	△ 49.8
アジア及びその他		9.3	34,876	7.6	31,770	3,106	9.8
セグメント間取引消去			△ 5,193		△ 12,385	7,192	-
連結 合計		8.1	92,039	7.2	83,930	8,109	9.7

## 【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日		2019年3月期第2四半期 連結累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		43.5	491,929	41.0	480,787	11,142	2.3
海外 :							
米州		18.0	203,837	18.8	220,024	△ 16,187	△ 7.4
欧州		12.4	139,851	12.8	150,391	△ 10,540	△ 7.0
アジア及びその他		26.1	296,517	27.4	321,541	△ 25,024	△ 7.8
計		56.5	640,205	59.0	691,956	△ 51,751	△ 7.5
連結 合計		100.0	1,132,134	100.0	1,172,743	△ 40,609	△ 3.5

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

## 2) 第2四半期連結会計期間(3ヶ月)

## 【事業セグメント別売上高】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2019年7月 1日 至 2019年9月30日		2019年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2018年7月 1日 至 2018年9月30日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージング ソリューション		13.3	79,434	14.5	87,996	△ 8,562	△ 9.7
ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション		44.4	265,119	43.3	263,156	1,963	0.7
ドキュメント ソリューション		42.3	252,255	42.2	256,699	△ 4,444	△ 1.7
連結 合計		100.0	596,808	100.0	607,851	△ 11,043	△ 1.8

(注)各区分に属する主要な製品の名称

- イメージング ソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、インスタントフォトシステム、光学デバイス等
- ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション : メディカルシステム機材、化粧品・サプリメント、医薬品、バイオ医薬品製造開発受託、再生医療製品、化成品、グラフィックシステム機材、インクジェット機材、ディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等
- ドキュメント ソリューション : デジタル複合機、パブリッシングシステム、ドキュメントマネジメントソフトウェア及び関連ソリューション・サービス等

## 【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2020年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2019年7月 1日 至 2019年9月30日		2019年3月期第2四半期 連結会計期間 自 2018年7月 1日 至 2018年9月30日		増減 (△は減少)	
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		45.3	270,532	41.3	250,855	19,677	7.8
海外 :							
米州		17.5	104,592	18.5	112,466	△ 7,874	△ 7.0
欧州		11.9	71,062	12.9	78,557	△ 7,495	△ 9.5
アジア及びその他		25.3	150,622	27.3	165,973	△ 15,351	△ 9.2
計		54.7	326,276	58.7	356,996	△ 30,720	△ 8.6
連結 合計		100.0	596,808	100.0	607,851	△ 11,043	△ 1.8

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。